

何を相談できるの？

がん相談支援センターでは、診断から治療、療養生活全般にわたって、がんに関するさまざまなご相談をお受けしています。不安なとき、困ったときはいつでもご相談ください。

たとえば……

(1) がん治療に関する相談

身近な人に話すことが難しいとき。お話を聞きながら、いっしょに状況を整理し、あなたに合った向き合い方を考えるお手伝いをします。

(2) 治療や病院の選択に関する相談

情報を集めたいとき。がんに関する冊子やパンフレット、インターネットの情報を提供します。

(3) 療養生活に関する相談

仕事、家事、育児、周囲の人とのかかわり、医療費や介護保険など、治療中だけでなく、退院後であっても、生活を考えるお手伝いをします。

家で療養したいがどうしたらいいのか、といった相談や、さまざまな助成・支援制度や、介護保険等の社会福祉サービスについてご相談をお受けします。

(4) 治療の転換期を向かえたときの相談

つらいとき、どのように選択していけばよいかわからないときにご相談ください。

ご家族の方へ

ご家族は「第2の患者さん」です。患者さんのご家族の相談にも対応しています。

患者さんに代わってがんの情報を集めたいときや、患者さんへの接し方に悩んでいるときには、お気軽にご相談ください。

また、大切な人を支えるために、ご家族のお気持ちや体のお悩みについてもお聞かせください。

「がん相談支援センター」にご相談ができることの例

検査・治療・副作用

- 自分のがんや治療について詳しく知りたい
- 担当医から提案された治療法以外の治療法がないか知りたい
- セカンドオピニオンを受けたいが、どこに行けばよいかわからない

医療者とのコミュニケーション

- 担当医の説明がむずかしい
- 医療者に自分の疑問や希望をうまく伝えられない
- 何を聞けばよいかわからない

経済的負担や支援について

- 活用できる助成・支援制度 介護・福祉サービスを知りたい
- 介護保険の手続きを知りたい
- 仕事や育児、家事のことで困っている

がんの予防や検診について

- がん検診はいつ、どこで受けられるか
- がん検診で再検査の通知がきたが、不安でたまらない

患者さんやご家族の心のこと

- 気持ちが落ち込んでつらい
- 思いを聞いてもらいたい

療養生活の過ごし方

- 治療の副作用や合併症と上手につきあいたい
- 自宅で療養したい

家族との関わり

- 家族にどう話していいかわからない
- 家族の悩みも相談したい

社会との関わり

- 病気について、職場や学校にどのように伝えればよいかわからない
- 仕事を続けながらの治療はできるか

AYA世代(15歳~30歳代)のがんについて

- 学校は続けられるか
- 就職や仕事はどうなるか
- 育児のことで困っている
- 子どもや親、職場や学校にどのように伝えればよいかわからない

緩和ケア

- 地域で緩和ケアを受けられる病院はあるか
- 治療を続けながら緩和ケアを受けるにはどうしたらよいかわからない

妊よう性、性に関することについて

- がんや治療は、妊娠や出産に影響するか
- がんや治療によって、性機能や性生活に影響はあるか
- パートナーとの関係が心配